

ボックスベアリング横引き工法

[ボックスベアリング横引き工法協会工法]

ボックスカルバートを所定の搬入口より吊りおろし、ベアリング（鋼球）とウインチによりレール（形鋼）に沿ってけん引してボックスカルバートを敷設する工法です。（新技術活用システム「NETIS」登録番号 No.KT-990571）

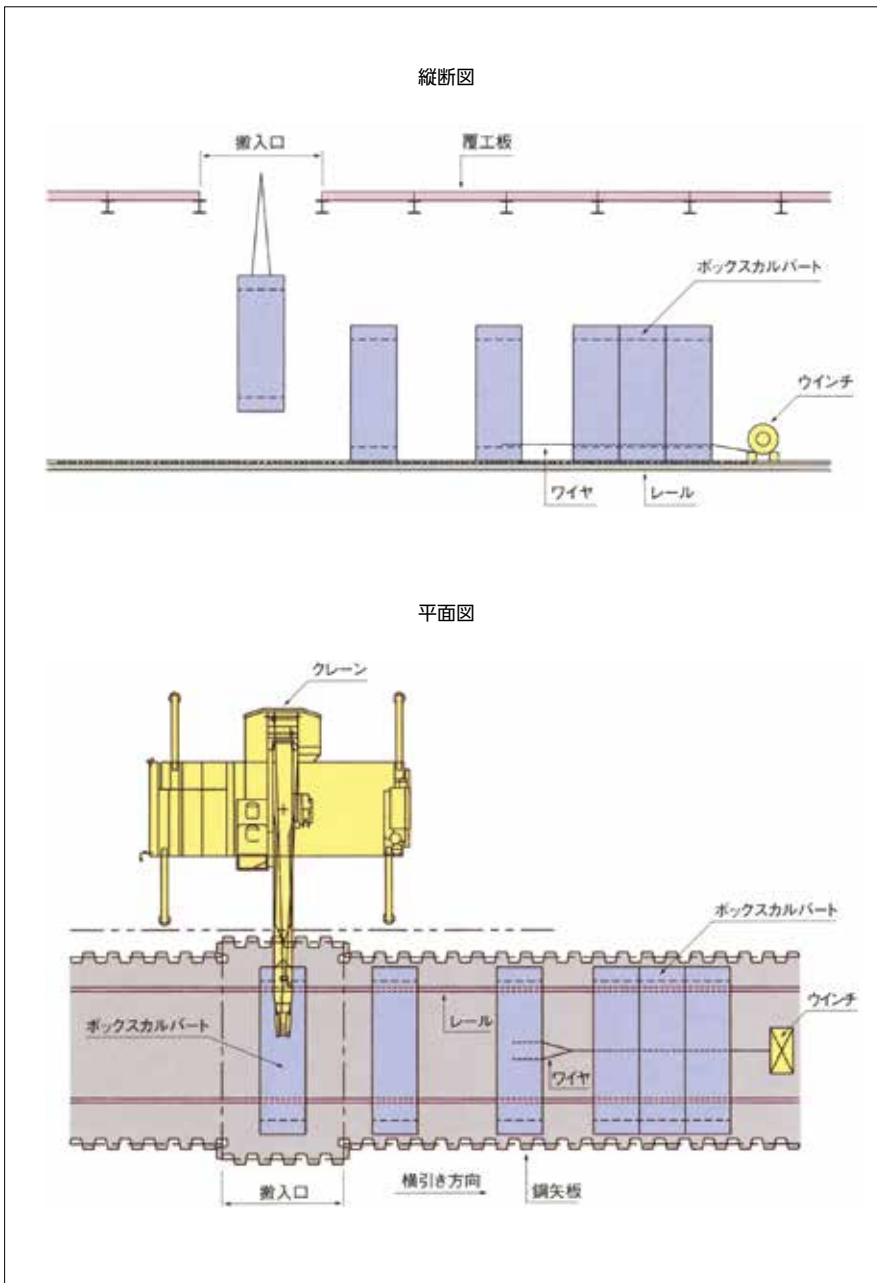
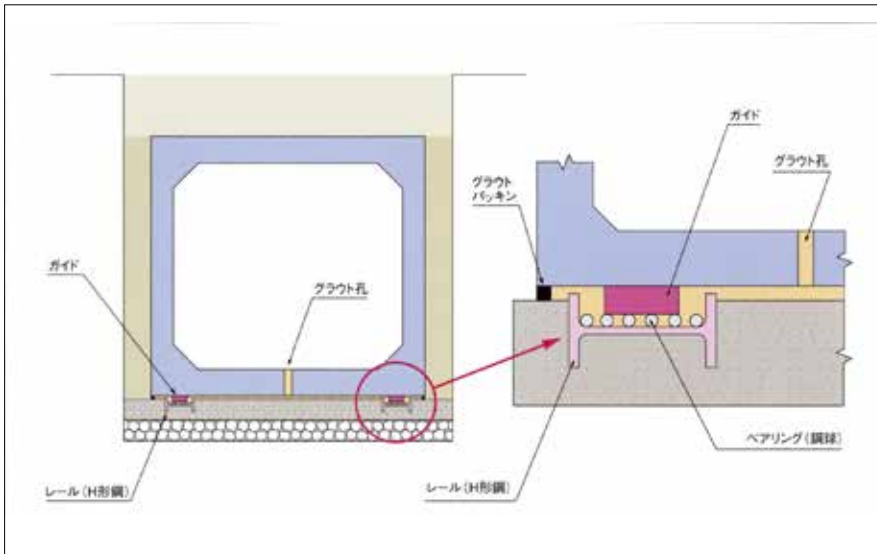


特長

- ① 民家の密集した狭い場所、交通量の多い道路下、橋梁および鉄道下の横断等の施工に最適です。
- ② 施工ヤードが狭くても、円滑な敷設作業ができます。
- ③ 搬入作業（クレーン作業）と敷設作業（横引き作業）が分離でき、急速施工が可能です。
- ④ 従来工法に比べて、掘削幅が小さくなります。
- ⑤ 覆工板を設置すれば、地下内での作業のみとなり、上部の交通が開放できます。
- ⑥ 敷設に伴ってクレーンを移動する必要がなく、おろし場所が一ヶ所で敷設できます。
- ⑦ 高架橋、電線等の上部障害物がある場所でも敷設作業が可能です。
- ⑧ ボックスカルバートと基礎との摩擦が小さく、縦方向のPC緊張力が50%に低減できます。
- ⑨ 縦断勾配10%までの施工が可能です。
- ⑩ 従来工法に比べて、工費の低減、工期の短縮、安全性の向上がはかれます。

ボックスベアリング横引き工法

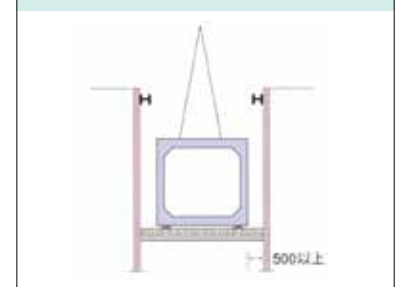
施工手順



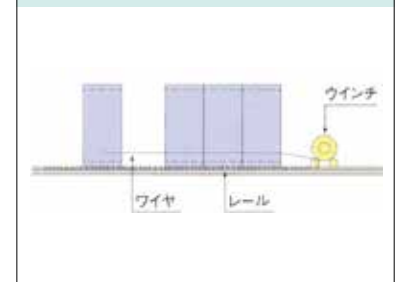
基礎工
基礎コンクリートにレールとベアリングをセットする



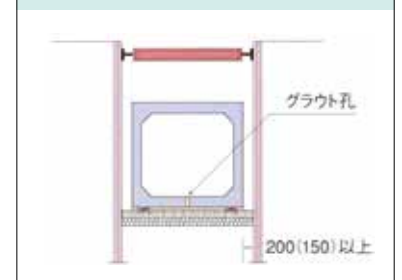
搬入工
搬入口よりクレーンにてレール上にボックスカルバートを設置する



横引き工
ボックスカルバートを据付け位置まで引き込む



グラウト工
ボックスカルバートと基礎コンクリートとのすき間にグラウトを施す



共同溝

ボックスカルバート

防火水槽

ボックスガレージ

L型擁壁

水路

貯留槽

河川護岸基礎用
ブロック

ATMブース

組立歩道

建築部材